2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の連結決算日における契約額又は契 約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体が デリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

●金利関連取引 (単位:百万円)

	種類		主なヘッジ 対象	平成29年3月31日			平成30年3月31日		
ヘッジ会計の 方法				契約	額等	時価	契約	額等	時価
					うち1年超			うち1年超	
原則的処理方法	金利 スワップ	受取固定・支払変動	貸出金、その他有価証	-	-	-	-	-	-
		受取変動・支払固定		85,585	65,463	△2,487	73,464	73,057	△1,916
	金利先物		券 (債券)、預金等の 有利息の金融資産・負債	-	-	-	-	-	-
	金利オプション			-	-	-	-	-	-
	その他			-	-	-	-	-	-
金利スワップの 特例処理	金利 スワップ	受取固定・支払変動		-	-	-	-	-	-
		受取変動・支払固定		-	-	-	-	-	-
		合 計				△2,487			△1,916

⁽注) 1. ヘッジ対象とヘッジ手段を紐付けする方法のほか、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号 平成14年2月13日)に基づき、繰延ヘッジ(キャッシュ・フローを固定するヘッジ)によっております。 2. 時価の算定

●通貨関連取引

(単位:百万円)

	種類	主なヘッジ 対象	平成29年3月31日			平成30年3月31日		
ヘッジ会計 の方法			契約額等		時価	契約額等		時価
W.C.C.O		7137		うち1年超			うち1年超	
原則的処理方法	通貨スワップ		23,635	-	△1,454	14,011	2,082	381
	為替予約	外貨建の有価証券等	-	-	-	-	-	-
	その他		-	-	-	-	-	-
海替予約等の 振当処理	通貨スワップ		-	-	-	-	-	-
	為替予約		-	-	-	-	-	-
	合 計				△1,454			381

⁽注) 1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号 平成14年7月29日)に基づ き、繰延ヘッジによっております。

該当ありません。

●株式関連取引 ●債券関連取引 該当ありません。

国際業務

●外貨建資産

(単位:百万米ドル)

	平成29年3月期	平成30年3月期
外貨建資産	2,806	3,171

●外国為替取扱高

(単位:百万米ドル)

		平成29年3月期	平成30年3月期
仕向為替	売渡為替	4,327	8,024
	買入為替	530	380
被仕向為替	支払為替	6,042	8,372
	取立為替	71	70
合計		10,972	16,847

取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しており

^{2.} 時価の算定 割引現在価値等により算定しております。